

インテリアの心地よさをつくる

[隔月刊] CONFORT

コンフォルト

2

2012年2月1日発行
(偶数月1日発行)

2012 February No.124

先人に学びつつ、現代に生かす。
日本の空間としつらいは、こんなにも美しい。



特集

日本の美しいもの
BEAUTIFUL JAPANESE THINGS

馬場浩史／小野喜規／長岡勉／緒方慎一郎／大和智／鈴木万亀子
安藤雅信・安藤明子／小林和人／高野澄恵／片桐功敦／飯田十基／挾土秀平

保存版 床の間の楽しみ FOCUS 室内建具

「少しいいこと」をプロダクトに

デザインプロジェクト、sample

夢があつて楽しくてカッコよくて、そして世の中にとってもいいことになる。そんなうれしいデザイン・プロジェクトが立ち上がった。サカイデザインアソシエイツ（主宰／デザイナー・酒井俊彦）がスタートさせた「sample」だ。酒井さんがデザインの仕事を続ける中で「変わって欲しい。風穴を開けたい」と感じてきたところで、少し手間をかけたものづくりをしたい、という考えから起こした自主企画である。信頼できる工場に、無理のない適正価格で製作を発注

し、プロジェクトごとに複数のデザイナーと一緒に製品をつくって、いこうというもので、廃棄される素材の利用や、廃業すると伝統が途絶えてしまうような技術を持つ工場に安定発注していくなど「少しいいこと」にも取り組んでいく。初回は、使われなくなった自動車用シートレザーと、適正価格で調達した大きな除伐材を素材としたiPadとiPhone回りのアイテム。参加デザイナーは12名、レザー5点、ヒノキ7点と、愛着の持てる魅力的なプロダクツが登場した。

右／iPadとiPhoneが2台ずつ置ける「キノダイ」。φ290×H95mm、¥39,900。デザインは桐本隆士。左上／iPhoneが心地よく休憩できる椅子「i・isu」。W60×D136×H70mm、¥3,780。南雲勝志のデザイン。以上、材は四万十ヒノキ・無塗装。左下／「Umiushi」は縁を自由にカットできるiPhone用レザーケース。¥3,200。setoのデザイン。[sample] <http://www.sakaidesign.com/sample>

実用品から飾り物まで、竹の豊かさを伝えたい

公長齋小菅 京都本店オープン

「竹が昔から生活と文化に深く関わってきた意味をよく理解し、暮らしを豊かにする竹製品を生み出すことが使命」とする同社の品揃

箱……。竹冠のつく道具類を挙げるとみるに枚挙にいとまがない。それだけ日本の道具には竹が多く使われてきたということだ。その竹を用いて、人々の生活文化を豊かにしたいと1898年に創業した公長齋小菅が、初の旗艦店となる「公長齋小菅 京都本店」をオープンした。

えは、工芸品から日々の道具類まで幅広い。近年では、デザイナー・小泉誠による「minotake」シリーズを開発するなど、暮らしの中で使って愛でて楽しい、喜びのある道具づくりにも積極的に取り組んでいる。

ショップデザインは、製品開発を通して、ものづくりの姿勢に共感したという小泉さんに依頼。小さな日々の道具から高度な手技による籠などまで、気軽に、そして静かに落ち着いてゆっくり見られる空間となっている。



上右／唐物宗全籠。古典と現代の融合を目指す同社の代表的な定番。上左／竹本来の性質や曲面を生かしたminotakeのしゃもじ。右2点／商品が映えるシンプルさ、凛とした美しい空間は、小泉誠のデザイン。写真／Nacása & Partners [公長齋小菅 京都本店] 京都市中京区三条通河原町東入ル中島町74 ロイヤルパークホテル ザ 京都1F 営業時間 10:00～20:00 定休日なし tel 075-221-8687

